

毎日の作業に緊張感を

佐藤渡辺の鎌田社長
青森県で安全パト

佐藤渡辺の鎌田修治社長
は9月13日に青森県内の高



速道路で施工する舗装補修
工事の現場を安全パトロー
ルし、工事の進捗状況と安
全衛生管理活動を確認した
。写真（佐藤渡辺提供）。
9月の2024年度「全国
労働衛生週間準備期間」に
基づく一環。本社から原田
秀一技術顧問や堂尻伸二工

事本部長付部長、東北支店
からは小川源太郎支店長や
藤原裕技術顧問、杉浦和弘
工事部長、前田崇志青森営
業所長が同行した。

現場は東日本高速道路東
北支社青森管理事務所発注
の「青森管理事務所発注の
東北自動車道R6青森管内
舗装補修工事」。安代IC
（青森IC間と、青森JC
Tで分岐し青森東ICまで
の青森自動車道も含む区間
で舗装補修工事を行う。

安全パトロールの当日は
碓ヶ関IC（青森県平川市）
付近上り線で切削オーバー
レイ工の表層工の施工が行
われていた。

鎌田社長は「現場内が整
理整頓されていることを確
認した。同一作業（切削オ
ーバーレイ工）の繰り返し
になるが、毎日の作業に対
する緊張感を継続してほし
い。特にローラー付近の作
業はオペレーターの死角に
入らないようミートイング
時に指導をお願いする」と
述べた。

同行した小川支店長は
「来年の工事完成まで目配
り、気配り、心配りを持つ
て臨めば、必ず無事故で終
えることができる」と呼び
掛けた。

